

面接日時	2023年10月23日(月) 10:00 ~ 10:30		
面接回数	1回目	面接場所	第1相談室
相談者名	Aさん	年齢	21歳
		性別	女性
その他相談者情報	私立大学4年生(文学部)。家族:父、母、弟。		
来談の経緯	当所ホームページから予約し、来談。		
来談の主な目的	周りの友達が就職が決まっていく中、自分だけがまだ内定をもらえていない。最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談したい。		
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など) 来所持は伏し目がちで、言葉にも力がなかった。自己効力感が落ちているように感じた。		

面接の経緯	CCの考察、見立て
<p>Aさんは、周囲の友達が次々就職が決まっていく中で自分だけまだどこからも内定がもらえておらず、このままだとどこからも内定をもらうことができないのではないかと不安で相談に来た。</p> <p>もう10月なのに自分だけ内定をもらえないことに落ち込んで不安になっているようだ。</p> <p>Aさんには何か内定をもらえないような問題があるのかと思い、これまでの就職活動状況について伺った。</p> <p>これまで7社応募して、3社面接にも行ったが、うまくいかず全社不採用になってしまった。最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。今の時点で7社しか応募していないのはそもそも活動量が少ないのではないかと思ったが、続けて話を聞くことにした。</p> <p>友達が次々内定が決まっていくなかで、友達とも会いにくいと感じていて、友達を避けるようになってしまっている。今は最低限必要な授業を受けるためにだけに大学に通っているのと、アルバイトにだけ出かけているような状況。せっかくAさんの周りには就活がうまくいっている友達がいるのだから、話を聞くなりし、参考にすればいいと思うのだが…そういうタイプの学生ではないのだろう。</p> <p>また、両親からはキャリアセンターに行くことも勧められたが、すでに3年生が多く来ている中で行きにくいと感じ当所に来談したとのことだった。</p> <p>Aさんは、事務職を希望している。理由を尋ねると人前に入るのが苦手だからとのこと。私としてはそれだと理由として弱いと感じたし、たしかにそれでは内定も難しいと感じた。</p> <p>今回は、これまでのESの内容の確認と模擬面接を行うことにして、面接を終了した。</p>	<p>7社の中身を聞けばよかった。どういった基準で応募先を選んでいるのだろう。</p> <p>友達は避けているが、授業やアルバイトには出ている。まったく意欲がなくなっているわけではなさそう。</p> <p>本当に人前に入るのが苦手なだけでなく、他の職種でもいいのでは？事務職という仕事をどう認識しているのか疑問。</p>
面接全体の所感、今後の方針	
<p>志望動機の弱さもさることながら、適切に自己PR(とその前提となる自己理解)ができていないのではないかと考えられた。今回はその仮説を確認したうえで、具体的に今後の就職活動の方針を決め、実行して行くことを支援していきたい。</p>	

面接日時	2023年10月23日(月) 10:00 ~ 10:30				
面接回数	1回目	面接場所	第1相談室		
相談者名	Aさん	年齢	21歳	性別	女性
その他相談者情報	私立大学4年生(文学部)。家族:父、母、弟。				
来談の経緯	当所ホームページから予約し、来談。				
来談の主な目的	周りの友達が就職が決まっていく中、自分だけがまだ内定をもらえていない。最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。このままどこからでも内定をもらえないのではないかと不安で相談したい。				
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など) 来所持は伏し目がちで、言葉にも力がなかった。自己効力感が落ちているように感じた。				

面接の経緯	CCの考察、見立て
<p>Aさんは、周囲の友達が次々就職が決まっていく中で自分だけまだどこからも内定がもらえておらず、このままどこからも内定をもらうことができないのではないかと不安で相談に来た。 もう10月なのに自分だけ内定をもらえないことに落ち込んで不安になっているようだ。</p> <p>Aさんには何か内定をもらえないような問題があるのかと思い、これまでの就職活動状況について伺った。 これまで7社応募して、3社面接にも行ったが、うまくいかず全社不採用になってしまった。最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。 今の時点で7社しか応募していないのはそもそも活動量が少ないのではないかと思っただ、続けて話を聞くことにした。</p> <p>友達が次々内定が決まっていくなかで、友達とも会いにくいと感じていて、友達を避けるようになってしまっている。今は最低限必要な授業を受けるためにだけに大学に通っているのと、アルバイトにだけ出かけているような状況。 せっかくAさんの周りには就活がうまくいっている友達がいるのだから、話を聞くなりし、参考にすればいいと思うのだが…そういうタイプの学生ではないのだろう。</p> <p>また、両親からはキャリアセンターに行くことも勧められたが、すでに3年生が多く来ている中で行きにくいと感じ当所に来談したとのことだった。</p> <p>Aさんは、事務職を希望している。理由を尋ねると人前に出るのが苦手だからとのこと。私としてはそれだと理由として弱いと感じたし、たしかにそれでは内定も難しいと感じた。</p> <p>今回は、これまでのESの内容の確認と模擬面接を行うことにして、面接を終了した。</p>	<p>7社の中身を聞けばよかった。 どういった基準で応募先を選んでいるのだろう。</p> <p>友達は避けているが、授業やアルバイトには出ている。まったく意欲がなくなっているわけではなさそう。</p> <p>本当に人前に出るのが苦手なだけでなく、他の職種でもいいのでは？事務職という仕事をどう認識しているのか疑問。</p>
面接全体の所感、今後の方針	
志望動機の弱さもさることながら、適切に自己PR(とその前提となる自己理解)ができていないのではないかと考えられた。今回はその仮説を確認したうえで、具体的に今後の就職活動の方針を決め、実行して行くことを支援していきたい。	

面接日時	2023年10月23日(月) 10:00 ~ 10:30				
面接回数	1回目	面接場所	第1相談室		
相談者名	Aさん	年齢	21歳	性別	女性
その他相談者情報	私立大学4年生(文学部)。家族:父、母、弟。				
来談の経緯	当所ホームページから予約し、来談。				
来談の主な目的	周りの友達が就職が決まっていく中、自分だけがまだ内定をもらえていない。最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談したい。				
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など) 来所持は伏し目がちで、言葉にも力がなかった。自己効力感が落ちているように感じた。				

面接の経緯	CCの考察、見立て
<p>Aさんは、周囲の友達が次々就職が決まっていく中で自分だけまだどこからも内定をもらえていない。このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談に来たとのこと。</p> <p>Aさんのこれまでの就職活動状況について伺った。これまで7社応募して、3社面接にも行ったが、うまくいかず全社不採用だった。最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない状況。</p> <p>友達が次々と内定が決まっていくなかで、友達とも会いにくく、避けるようになってしまっている。今は最低限必要な授業を受けるためだけに大学に通っているのと、アルバイトにだけ出かけている生活。</p> <p>両親からはキャリアセンターに行くことも勧められたが、すでに3年生が多く来ている中で行きにくいと感じ当所に来談したとのこと。</p> <p>Aさんは事務職を希望している。人前に出るのが苦手なので、事務職がいいと思ったとのことだった。</p> <p>Aさんに事務職としての業務経験があるかを尋ねたところ、少し考えた後、以前のアルバイト先では事務的な作業があり、「丁寧で、手際が良い」とほめられたことがあるという話があった。そのようなことをESや面接で伝えたかを尋ねたところ、今尋ねられたから思い出したことなので、就職活動では伝えてはいないとのこと。</p> <p>Aさんの今後の就職活動の進め方を考えるためにも、次回は、これまでのESの内容の確認と模擬面接を行うことにして、面接を終了した。</p>	<p>落ち込んで不安げな様子が見られたので、まずは安心してもらえるように関わった。</p> <p>「うまくいかない」とはどういうことだろうか。意欲がわかなくなるほどのことがあったのだろうか。</p> <p>授業やアルバイトには出ている。ここに相談者の強みがあるかもしれない。</p> <p>両親との関係はどうだろう。相談者の就職活動に影響はあるだろうか。</p> <p>志望理由としては弱いと感じた。応募先にはどのように伝えているのだろうか。</p> <p>相談者が自分自身のことを十分理解できておらず、企業にも自身のよさが十分に伝えられていないのではないかと感じられた。確認した方がよさそうに思う。</p>
面接全体の所感、今後の方針	
志望動機の弱さもさることながら、適切に自己PR(とその前提となる自己理解)ができていないのではないかと考えられた。次回はその仮説を確認したうえで、具体的に今後の就職活動の方針を決め、実行して行くことを支援していきたい。	

面接日時	2023年10月30日(月) 10:00 ~ 10:30		
面接回数	2回目	面接場所	第1相談室
相談者名	Aさん	年齢	21歳
		性別	女性
その他相談者情報	私立大学4年生(文学部)。家族:父、母、弟。		
来談の経緯	当所ホームページから予約し、来談。		
来談の主な目的	周りの友達が就職が決まってく中、自分だけがまだ内定をもらえていない。最近では就職活動を行う意欲がわかず、何もできていない。このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談したい。		
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など) 1回目と比べるとずいぶん落ち着いた印象。ただ、面接途中から自己否定的な発言が増え、最後には黙り込んでしまった。		

面接の経緯	CCの考察、見立て
<p>前回の面接の振り返りを行った後、持参したESの内容を確認した。</p> <p>自己PRには、「発信力」、「リーダーシップ」など書かれてあった。AさんにこのESをどのようにして作成したのかを尋ねたところ、就職セミナーでもらった資料やナビサイトの作成例を見ながら、一般的に企業ウケしそうなキーワードを組み合わせて作成をしたとのこと。</p> <p>もともとAさん自身で作成した自己PRもあったが、友達から「地味すぎる」、「インパクトがない」などと言われて書き直した。これまで応募した企業では、書き直した方の自己PRを使っている。</p> <p>そして、次に模擬面接を行った。Aさんは自己PRで言い淀み、言葉を詰まらせてしまった。こちらから「書類に書かれてあることをそのまま言ったらいいですよ」と促したが、下を向いて黙り込んでしまった。</p> <p>そのため、いったん模擬面接をストップして、振り返りを行った。黙り込んでしまったことについてAさんに尋ねると、友達の意見を参考に自己PRを書いてはみたものの、どこか違和感がある面接になるとうまく話せない、面接官も自分の話には違和感を感じているのではないかと、余計に焦って頭が真っ白になってしまうとのことだった。</p> <p>さらには、 「私には、友達のような前向きな自己PRはできません」 「こんなのでは、どこからも内定なんてもらえないですよ」 などといった発言が続いた。</p> <p>私の方から「友達と同じようにする必要もないし、AさんにはAさんの良いところがある」、などいろいろと声掛けを行ったが、Aさんは黙り込んでしまって反応はないままだった。</p> <p>面接時間が終了に近づいてきたので、次回は再度、ESの内容を考え直していくことで、今回の面接を終了した。</p>	<p>ESの文章は、わかりやすく丁寧にまとめられているが、自己PRの内容は、「人前に出るのが苦手」という前回の相談者の話から違和感を感じた。</p> <p>この自己PRには本人も違和感を感じていることがわかった。</p> <p>友達と自分を比較して自己否定的になっているよう感じた。</p> <p>相談者にそこまで落ち込む必要はないと気づいてほしかったが、空回り、もしくは逆効果だったかもしれない。</p> <p>自己PRの見直しを行う中で、自分の良さに気づいて、納得できるPRを作ってもらえたらと思う。</p>
面接全体の所感、今後の方針	
<p>友達の影響が強く、友達と同じようにできないと内定をもらえないと考えているような節があることが気になった。自己PRも相談者自身のよいところがきちんと表現できていないのではないかと感じられた。もともとあった自己PRなども参考にしながら、次回は相談者自身の言葉で相談者自身のことを表現できるように支援していきたい。</p>	

作成日		作成者	
面接日時			
面接回数	1回目～2回目	面接場所	民間の就職支援機関相談室

相談者情報

相談者名		年齢		性別	
略歴	私立大学4年生(文学部)。				
家族構成	父、母、弟。				
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など)				

事例の概要

来談に至る経緯、目的
相談内容

考察

相談者の訴える問題 (主訴)	
キャリアコンサルタント が捉えた問題	
今後の支援方針 (目標・方策など)	
備考 (留意すべき事項、 対応の期限など)	

所感

キャリアコンサルタントとして、この面接でできたこと、改善したいこと、今後の課題など
<p>この面接でできたことは、最初不安げで落ち込む相談者を受け止め、安心して話してもらえたこと。また、就職活動の状況や課題と思われる部分について確認ができたところ。</p> <p>一方、改善したいところは、2回目の面接で落ち込む相談者に対して、何とか力づけようと関わったが、かえって落ち込ませてしまったように感じている。こういう場合どうすればよかったのだろうかと思う。</p> <p>また、今後支援を続けていくうえで、どのようにアプローチしていけばいいのだろうか。</p>

作成日	2023年12月10日	作成者	〇〇 〇〇
面接日時	1回目：202X年10月X日、2回目：202X年10月X+7日（各30分間）		
面接回数	1回目～2回目	面接場所	民間の就職支援機関相談室

相談者情報

相談者名	Aさん	年齢	20代前半	性別	女性
略歴	私立大学4年生(文学部)。				
家族構成	父、母、弟。				
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など) 初回は伏し目がちで、言葉にも力がなかった。自己効力が落ちている印象。 また、面接全体を通じて、どちらかと言うと控えめで物静かな方だと感じた。				

事例の概要

来談に至る経緯、目的
周りの友達が就職が決まってく中、自分だけがまだ内定をもらえていない。 最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談したいとのことで、相談機関のホームページから予約し、来談。
相談内容
(1回目) 相談者は、周りの友達が就職が決まってく中で、自分だけがまだ内定をもらえていない。 このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談したいと来談。 まずは、就職活動や現在の状況などを確認したところ、就職活動がうまくいかず意欲が低下して、何もできていないとのことだった。 また、相談者が事務職を希望していることから、その理由や経験を聞き、アピールの方法についても確認した。 次回はこれまでのESや模擬面接をもとに今後の就職活動の進め方を一緒に考えていくことにした。
(2回目) ESの内容の確認を行った。自己PRは友達からの指摘で企業ウケしそうなキーワードを組み合わせ作り直したものを使っている。しかし、相談者自身もその内容に違和感を感じており、面接でうまく話せなくなるとのこと。そこで模擬面接を行ってみたが、途中で黙り込んでしまった。 また、そこから「私には、友達のような前向きな自己PRはできません」、「こんなじゃ、どこからも内定なんてもらえないですよ」などといった発言が続いた。相談者に対し、いろいろ声掛けを行ったが、反応はなく、沈黙したまま終了時間になった。次回、ESの内容を再考することにして終了した。

考察

相談者の訴える問題 (主訴)	
キャリアコンサルタント が捉えた問題	
今後の支援方針 (目標・方策など)	
備考 (留意すべき事項、 対応の期限など)	

所感

キャリアコンサルタントとして、この面接でできたこと、改善したいこと、今後の課題など
<p>この面接でできたことは、最初不安げで落ち込む相談者を受け止め、安心して話してもらえたこと。また、就職活動の状況や課題と思われる部分について確認ができたところ。</p> <p>一方、改善したいところは、2回目の面接で落ち込む相談者に対して、何とか力づけようと関わったが、かえって落ち込ませてしまったように感じている。こういう場合どうすればよかったのだろうかと思う。</p> <p>また、今後支援を続けていくうえで、どのようにアプローチしていけばいいのだろうか。</p>

作成日	2023年12月10日	作成者	〇〇 〇〇
面接日時	1回目：202X年10月X日、2回目：202X年10月X+7日（各30分間）		
面接回数	1回目～2回目	面接場所	民間の就職支援機関相談室

相談者情報

相談者名	Aさん	年齢	20代前半	性別	女性
略歴	私立大学4年生(文学部)。				
家族構成	父、母、弟。				
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など) 初回は伏し目がちで、言葉にも力がなかった。自己効力が落ちている印象。 また、面接全体を通じて、どちらかと言うと控えめで物静かな方だと感じた。				

事例の概要

来談に至る経緯、目的
周りの友達が就職が決まってく中、自分だけがまだ内定をもらえていない。 最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談したいとのことで、相談機関のホームページから予約し、来談。
相談内容
(1回目) 相談者は、周りの友達が就職が決まってく中で、自分だけがまだ内定をもらえていない。 このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安で相談したいと来談。 まずは、就職活動や現在の状況などを確認したところ、就職活動がうまくいかず意欲が低下して、何もできていないとのことだった。 また、相談者が事務職を希望していることから、その理由や経験を聞き、アピールの方法についても確認した。 今回はこれまでのESや模擬面接をもとに今後の就職活動の進め方を一緒に考えていくことにした。
(2回目) ESの内容の確認を行った。自己PRは友達からの指摘で企業ウケしそうなキーワードを組み合わせ作り直したものを使っている。しかし、相談者自身もその内容に違和感を感じており、面接でうまく話せなくなるとのこと。そこで模擬面接を行ってみたが、途中で黙り込んでしまった。 また、そこから「私には、友達のような前向きな自己PRはできません」、「こんなじゃ、どこからも内定なんてもらえないですよ」などといった発言が続いた。相談者に対し、いろいろ声掛けを行ったが、反応はなく、沈黙したまま終了時間になった。次回、ESの内容を再考することにして終了した。

考察

<p>相談者の訴える問題 (主訴)</p>	<p>周りの友達が就職が決まってく中、自分だけがまだ内定をもらえていない。 最近では就職活動を行う意欲がわからず、何もできていない。このままだとどこからも内定をもらえないのではないかと不安。</p>
<p>キャリアコンサルタント が捉えた問題</p>	<p>(問題の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 希望する事務職でほめられた経験を面接で伝えていないなど、相談者自身のよいところを就職活動に活かしていないのではないかと。 ・ 自己PRに違和感を感じていることなどから、自分自身が本当にアピールできる(アピールすべき)ポイントに気が付いていないのかもしれない。 ・ 事務職を希望した理由が「人前に出るのが苦手」ということなどから、自分に適した仕事(企業)選びができているのかも疑問が残った。 ・ 「一般的に企業ウケしそうな」自己PRを行っており、応募する企業や職種それぞれにおいてどのような人物が求められているかまで考えられていないのではないかと。 ・ 友達との比較や友達からの助言など、友達に強く影響されており、就職活動について主体的に考えられていない様子がうかがえる。 ・ 就職活動が思うように進まず自己効力が落ちているためか、自己否定的な発言も見られ、状況をニュートラルに見られていないように感じる。 ・ 「キャリアセンターには行きにくい」などの発言から、身近なリソースを活用しきれていないのではないかと。
<p>今後の支援方針 (目標・方策など)</p>	<p>(支援方針の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談者の不安や落ち込みを受け止めつつ、相談者が状況を客観的に把握・理解できるように関わる。 ・ 友達からの影響に気づき、改めて自分自身がどうしたいのか等主体的に考えることができるよう支援する。 ・ 自身の興味や関心、能力等、自己理解を深める中で、どのような仕事(企業)を目指していきたいのかを明確にできるよう支援する。 ・ 希望する仕事(企業)について情報収集等により理解を深めて、そこに向けて適切なPRなどについて考えられるよう関わる。 ・ 目先の就職活動だけでなく、その後どのように働いていきたいかも考えたうえでこれからの就職活動の方向性について明確化してもらう。 ・ 最終的に今後の就職活動について相談者が主体的に考え、その実現に向けて適切に行動していけるよう支援していく。
<p>備考 (留意すべき事項、 対応の期限など)</p>	<p>一般的な就職活動のスケジュールと卒業までの期間に留意しながら進める。</p>

所感

<p>キャリアコンサルタントとして、この面接でできたこと、改善したいこと、今後の課題など</p>
<p>この面接でできたことは、最初不安げで落ち込む相談者を受け止め、安心して話してもらうことができたこと。また、就職活動の状況や課題と思われる部分について確認ができたこと。 一方、改善したいところは、2回目の面接で落ち込む相談者に対して、何とか力づけようと思ったが、かえって落ち込ませてしまったように感じている。こういう場合どうすればよかったのだろうかと思う。 また、今後支援を続けていくうえで、どのようにアプローチしていけばいいのだろうか。</p>